

#### 4. カフェ企画の内容について

##### ①カフェでどんなことをしますか

マスター尾崎が仙台で芸術・文化・街づくりで活躍するおやじたちを2-3人招き、得意分野を活かしてさまざまな人の悩み相談にのるカフェ。  
ゲストと参加者、参加者同士が互いの悩み事をききあったり意見交換する場をつくり、さまざまな人の活動を結びつけ、目標の実現に向けて活動を支援する。  
世代を超えた多様な人々が、初対面にもかかわらず気軽に話せる場づくりを行う。

##### ②カフェを開催する目的と期待される効果 についてご記入ください

※カフェをひらくことでどんなことを人に伝えたいか、期待されることなどを具体的にお書き下さい

今の若者は、一人で閉じこもりがちになったり、同世代の仲間としか接することがなく、違う世代の知り合いをつくろうとしない。もっと多様な他者と関わりあうこと、人の意見をきいてみようと思う姿勢が必要ではないかと感じられた。

喫茶店文化というのは、昔はこういった若者が自分の夢を語り、悩みを相談しそこにあつまる大人たちに相談をしていた場であり、この出会いによって様々なことが巻き起こる、文化が生まれる場所であった。このような人と人がつながりあうカフェ文化を伝えていきたい。

##### ③実施希望日時

※いつでもいい場合はそのようにご記入ください。何時から何時まで開催したいか時間についてもお書き下さい

日にち 平成 20年 9月 日 ~ 平成 21年 11月 日 隔月1回開催  
時間 18:00 ~ 20:00

##### ④実施するにあたって協力団体や関連する団体があれば、その団体名をお書き下さい

シェアカフェバー、ミルクティーハウス

##### ⑤カフェ開催の条件として、カフェのマスター役を演じる方に、そこに集まる方同士を引き合わせたり、情報交換できるような場づくりをしていただきます。

(1) マスターになる方のお名前

(2) これをどのようにして実現するか

(参加者同士が情報交換できるしかけ、自己紹介の方法など) アイディアをご記入ください

(1)マスターのお名前 尾崎 行彦

##### (2)集まる人同士が情報交換できるしかけ・アイディア・カフェの進行方法

最初に、ゲストが各テーブルに散らばって座り、集まった参加者が話をしてみたいゲストのテーブルへおのおの移動する。その後、各テーブルを囲んで丸くなり、一人一人が最初に自己紹介をする。一回りしたあとで、それぞれが悩みに思っていることを打ち明け、みんなで意見交換する。なかなか発言が出にくい場面では、各ゲストや、マスターが全体の状況を見て場を和ませ、発言を引き出すファシリテーターとなる。進行のなかでも、別のテーブルに移りたい人は途中で移動していいということなどを伝えたり、場合によっては、お茶を出してブレイクさせる時間を設ける。

##### ⑥事業のアピールポイント (工夫したところ、ここがおもしろいところ)

シリーズ開催で、基本的にマスター役は固定の人物だが、テーマによってゲストが入れ替わるため、その都度来場者が入れ替わり、多様な世代の出会いの演出がしやすい。また、同じことに関心をもった人が集まるため、それぞれの参加者が自己PRする場としても機能する。また、事前申し込みの際に、あらかじめ悩み事をききとるが、そのことによって、ゲストと参加者のモチベーションが高まる。悩みごとに対する意見交換は、聞いている周りの人にも役立つ情報である。お茶を提供するのは市内で紅茶専門店を営むミルクティーハウスさん、またおやじカフェと趣旨を同じくして場をみんなで共有して運営している「シェアカフェバー」が共同でイベントを開催することで、カフェらしい雰囲気プロによって演出している。

※裏面もご記入ください

応募用紙2枚目

⑦お茶の提供はどのようにしますか

※カフェの内容と提供する飲料に関係性があればそれについてもお書き下さい

※参加費の徴収とは別に、飲料の販売を行いますか（保健所への申請が必要になることがあります）

提供するお茶の種類
.....
紅茶2種類、コーヒー1種類
.....
参加料として300円を徴収し1ドリンクは無料とする。2杯目以降は紅茶もコーヒーも
.....
1杯200円で販売。
.....
.....
飲料の販売 <input checked="" type="checkbox"/> （2杯目以降について販売 1杯200円）・最初の1杯は無料
.....

5. 事業の広報について

次のあてはまる項目にチェックしてください。複数でもかまいません。

- WEB サイトを作成する
- チラシを印刷する
- WEB サイトが作成できないので、告知に必要な文字データをメディアテーク宛てにメールで送信する

そのほかにもあればご記入ください。

（多様な世代の人に興味をもってもらえるようラジオ・テレビ出演、新聞掲載などマスコミに働きかける）

6. 予算書 ※飲料の販売がある場合は、収入の部分に記入してください。

			団体名
	区分	予算額	内容
	参加料	9000円	30人×300円
	助成金		
	寄付金・協賛金		
	自己負担金		
	飲料販売収入	1000円	10人×100円
	合計	10000円	
支  出	謝礼		
	交通費		
	チラシ印刷費	2000円	
	宣伝費		
	消耗品	3000円	
	茶葉購入費	4000円	
	保健所申請料	1100円	
	合計	11000円	
収支合計	-100円		